

【報告事項 1】令和 6 年度事業報告の承認について

令和 6 年度事業報告書

1. 概 準

公益社団法人釧路地方法人会は、税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として、納税意識の高揚をめざし、各分野の事業活動を展開いたしました。

令和 6 年度の税制改正は、法人税関係では、物価高に負けない構造的・持続的な賃上げの動きをより多くの国民に広げ、効果を深めるため「賃上げ促進税制」が強化されました。消費税関係では、事業者の実務に即し「仕入税額控除に係る帳簿の記載事項の見直し」「簡易課税適用者等の経理処理方式の見直し」が図られました。

令和 7 年度に向けた税制改正に関する提言では、地域経済や雇用の担い手である中小・零細企業が将来にわたって存在感を發揮するためには、それら企業の活性化が不可欠であり、地方創生の観点からも政府と自治体が緊密に連携し地域の企業に元気を与えるような税制措置が強く求められました。

提言の決議に向けては、北海道法人会連合会税制改正要望全道大会苫小牧大会、法人会全国大会鹿児島大会が開催され、地域への提言活動は滞りなく実施されました。研修事業は、全て当初の予定どおり開催されました。租税教室は例年どおり管内各小学校で開催されました。税に関する絵はがきコンクールは応募数が大幅に増え、表彰式も例年どおり開催することができました。また、昨年度に引き続き、地域社会への貢献を目的とする事業として、支部を中心に地域の窮地救済のための物品等の寄贈に取り組みました。

会員福利厚生事業では、大型保障制度等福利厚生制度の推進をはじめ、P E T 総合がんドックなど、会員増強のための法人会メリットの推進に取り組みました。

2. 総務関係

定款 変更なし

規則 支部運営規則の改正（令和 7 年 4 月 1 日実施）

3. 組織関係

1) 全体会員数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	会員数	内. 法人会員数	法 人 数	加 入 率	内 訳
期 首	1, 729	1, 703	4, 669	36. 5%	
期 末	1, 686	1, 657	4, 688	35. 3%	期中入会 17社
					期中退会 60社

※期首法人数は、令和 5 年 1 2 月末実数、期末法人数は令和 6 年 1 2 月末実数

2) 支部別会員数（令和 7 年 3 月 31 日現在） ※法人数は、令和 6 年 1 2 月末実数

支 部 名	会 員 数	内. 法人会員数	法 人 数	法人加入率
釧 路	1, 207	1, 181	3, 588	32. 9%
白 糠	68	68	168	40. 5%
標 茶	63	63	197	32. 0%
弟 子 屈	83	83	202	41. 1%
厚 岸	92	90	210	42. 9%
阿 寒	75	75	122	61. 5%
浜 中	63	62	128	48. 4%
鶴 居	35	35	73	47. 9%
合 計	1, 686	1, 657	4, 688	35. 3%

3) 部会別会員数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

□女性部会 23名 □青年部会 96名

4. 税制改正提言活動関係

1) 令和7年度税制改正に関する提言（要約）

I. 税・財政改革のあり方

- ・財政健全化は国家的な課題であり、日本経済の将来にわたる持続可能性を高めるためにも本格的な歳出・歳入の一体的改革を進めることが重要である。

1. 財政健全化に向けて

- ・「金利のある世界」が現実に到来する中で、今後の金利上昇に備えて財政健全化が必要である。

(1) 本年6月から始まった定額減税は、その制度設計が複雑すぎたこともあり、企業や地方自治体に多大な事務負担を強いることになった。与党内には物価高などを背景に来年も継続するように求める声もあるが、政策効果が不透明で企業の事務負担が重い減税は継続すべきではない。

(2) こども・子育て政策（加速化プラン）として、2028年度までに年間3.6兆円の予算規模とする方針だが、この財源は社会保障の歳出改革や医療保険料に上乗せして徴収する「支援金制度」などで賄うとしている。医療保険料への上乗せ負担は、現役世代への実質的な隠れ増税と言える。政府は負担の議論から逃げず、消費税を含めた安定的な財源確保策を検討し、持続可能な社会保障制度の確立と財政健全化の両立を目指すべきである。

(3) 防衛力の抜本強化では防衛費を2027年度までの5年間で総額43兆円とすることを決定したが、大半が「歳出改革」や「決算剰余金の活用」により捻出することとしており、財源としての安定性を欠いている。日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、防衛費の増額は必要な政策であるだけに、安定的な財源の確保が欠かせない。

2. 社会保障制度に対する基本的考え方

- ・持続可能な社会保障制度を構築するには、適正な「負担」を確保するとともに、「給付の重点化・効率化」によって可能な限り社会保障費を抑制する必要がある。
- ・社会保障のあり方をめぐっては、「自助」「公助」「共助」の役割と範囲を適正に見直すほか、公平性の視点も重要である。医療保険の窓口負担や介護保険の利用者負担などの本人負担については、高齢者においても負担能力に応じた公平な負担を原則とする必要がある。
- ・中小企業は物価高騰に直面する中で、最低賃金の大幅な引き上げや物価上昇を上回る賃上げが求められており、厳しい経営を強いられている。企業に対する過度な保険料負担を抑え、経済成長を阻害しないような社会保障制度の確立が求められる。
- ・配偶者控除等の税の問題や年金等の社会保障の問題は、就労調整が行われる一つの要因であり、人手不足に直面する中小企業にとって重要なテーマである。女性の就労を支援する政策を含め、税と社会保障の問題を一括して

議論する必要がある。

- (1) 公的年金については年金財政の検証結果を踏まえ、年金制度の見直しについて検討が進んでいる。公的年金制度の持続可能性を高めるために「マクロ経済スライドの厳格対応」や「高所得高齢者の基礎年金国庫負担相当分の年金給付削減」などの検討が求められる。
- (2) 医療は産業政策的に成長分野と位置付け、デジタル化対応など大胆な規制改革に取り組む必要がある。給付の急増を抑制するためには診療報酬（本体）の配分等を見直すことも重要である。
- (3) 少子化対策では児童手当が大幅に拡充されたほか、所得制限も完全撤廃された。だが、富裕層にまで支給対象を広げる政府方針については、出生率の向上につながるか疑問があるほか、公平性確保の点からみて極めて問題である。本来は現金給付よりも保育所や学童保育等の整備、保育士等の待遇を改善するなどの現物給付に重点を置くべきであり、国及び地方自治体が財政・行政面で総合的な施策を講じるべきである。
- (4) 介護保険については高齢化の進展に伴い、制度の持続可能性を高めるために真に介護が必要な者を見極めるほか、医療と同様に公平性の視点から給付及び負担のあり方を見直すべきである。また、生活保護については、給付水準のあり方などを見直すとともに不正受給の防止に向けた一段の厳格化が欠かせない。

3. 行政改革の徹底等

- ・国民の政治に対する不信感は極度に高まっていると厳しく認識し、政治資金規正法の不断の見直しなどに取り組み、政治資金に関する透明性の向上や適正化、罰則の厳格化を図るべきである。
- ・行政改革を徹底するに当たっては、地方を含めた政府・議会自らが「まず隗より始めよ」の精神に基づき、率先して身を削らなければならない。

(1) 国・地方における議員定数の大胆な削減、歳費の抑制。また、調査研究広報滞在費や公務活動費等の適正化と使途の透明化。

(2) 厳しい財政状況を踏まえ、国・地方公務員の効率的な要員確保と能力を重視した賃金体系などによる人件費の抑制。

(3) 特別会計と独立行政法人の無駄の削減。

(4) P D C A サイクルを確立することにより、各省庁による事業のチェックを継続的に実施する。また、民間活力を積極的に導入し、民需主導の自律的な経済成長を促す。

4. マイナンバー制度について

- ・政府は引き続きマイナンバー制度の意義とともに、行政事務のコストカットに資する等、その効果を具体的に明示するなどしてマイナンバーの利用拡大を促す必要が

ある。

- ・国民の利用が広がらない背景には、マイナンバーカードを通じた個人情報の漏洩に強い懸念を持っていると認識すべきである。第三者による悪用を防ぐためのプライバシー保護などに努め、制度の適切な運用が担保される環境を構築することで国民の不安を払拭し、信頼の回復に努めなければならない。

5. 今後の税制改革のあり方

II. 経済活性化と中小企業対策

- ・着実な賃上げや最低賃金の大幅引き上げが迫られる中で、賃上げ原資を生み出すために原材料費や光熱費など、上昇するコストの適正な価格転嫁が大きな課題となっている。円滑な価格転嫁や下請けいじめの排除に向け、中小企業庁や公正取引委員会などによる取引監視体制の強化が求められる。必要に応じて下請法の改正など、実効性のある取り組みを進めなければならない。
- ・人手不足や継続的な賃上げなど中小企業の構造的な課題を解決するには、中小企業自らの経営改革も重要になる。そのためには生産性の向上や付加価値の創出に向け、力強い政策的な支援が欠かせない。

1. 中小企業の活性化に資する税制措置

- ・地方創生の観点からも政府と自治体が緊密に連携しながら、地域の中小企業に元気を与えるような税制措置を強く求める。

(1)法人税率について

近年、大法人に適用される法人税率を引き上げる動きがあるが、経済情勢等に鑑み、慎重に検討すること。

(2)法人税率の軽減措置

中小法人に適用される軽減税率の特例 15%を本則化すべきである。また、昭和 56 年以来、800 万円以下に据え置かれている軽減税率の適用所得金額を、少なくとも 1,600 万円程度に引き上げること。なお、直ちに本則化することが困難な場合は、令和 7 年 3 月末日となっている適用期限を延長すること。また、上記(1)に関連して、中小法人に適用される軽減税率まで引き上ることがないよう配慮すること。

(3)中小企業の技術革新など経済活性化に資する措置

租税特別措置については、公平性・簡素化の観点から、その政策目的を達したものは廃止を含め整理合理化を行う必要がある。ただし、中小企業の技術革新など経済活性化に資する税制措置については、以下の通りに制度を拡充したうえで本則化すること。

①中小企業投資促進税制については、対象設備を拡充したうえ、「中古設備」を含めることを求める。なお、それが直ちに困難な場合は、令和 7 年 3 月末日となっている適用期限を延長すること。

②少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例措置については、物価が上昇していること等を踏まえ、

取得価額要件を 30 万円未満から 50 万円未満に引き上げるとともに、損金算入額の上限（合計 300 万円）を撤廃し全額を損金算入とすること。

(4)中小企業等の設備投資支援措置

「中小企業経営強化税制」や「先端設備等導入計画に係る固定資産税特例」等を適用するに当たっては、手続きを簡素化するとともに、事業年度末（賦課期日）が迫った申請や認定については弾力的に対処すること。

なお、「中小企業経営強化税制」や「先端設備等導入計画に係る固定資産税特例」等、令和 7 年 3 月末日が適用期限となっている中小企業等の設備投資を支援する措置については、適用期限を延長すること。

(5)中小企業の事務負担軽減

近年、インボイス制度の導入や電子帳簿保存法の改正による電子データ保存の義務化に対応するなどで、事業者の事務負担や納税協力コストは年々増加している。また、今般の定額減税についても、給与所得者に対する減税事務は事業者に委ねられており、さらに急遽、減税額を給与明細に明記することが義務化された。人手不足が深刻化する中において、こうした事務負担の増大はとくに経営基盤が決して強靭ではない中小企業にとって重い負担となっていることを認識する必要がある。また、事務負担コストの軽減を図るため、中小企業の DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進につながるような手段の支援が欠かせない。

2. 事業承継税制の拡充

- ・中小企業が相続税の負担等によって円滑な事業の承継ができなくなれば、経済・社会の根幹が揺らぐことになる。

(1)事業用資産を一般資産と切り離した本格的な事業承継税制の創設

我が国の納税猶予制度は、欧州主要国と比較すると限定期的な措置にとどまっており、欧州並みの本格的な事業承継税制が必要である。とくに、事業承継に資する相続については、事業従事を条件として他の一般資産と切り離し、非上場株式を含めて事業用資産への課税を軽減あるいは免除する制度の創設が求められる。なお、本格的な事業承継税制が創設されるまでの間は、(2)取引相場のない株式の評価、(3)相続税、贈与税の納税猶予制度について見直すこと。

(2)取引相場のない株式の評価の見直し

取引相場のない株式の評価については、企業規模や業種によって多様であるが、企業価値を高めるほど株価が上昇し、税負担が増大する可能性があるなど、円滑な事業承継を阻害していることが指摘されている。取引相場のない株式は換金性に乏しいことを考慮し、評価のあり方を見直すことを求める。

なお、見直されるまでの間は、平成 14 年度に創設（平成 16 年度に改正）された「特定事業用資産についての

相続税の課税価格の計算の特例」を参考に株式の評価額を減額する措置を講じること。

(3)相続税、贈与税の納税猶予制度の充実

贈与税の納税猶予制度の後継者要件として、「贈与の直前において3年以上役員であること」が挙げられていることから、余裕を持った事業承継を行えるよう、特例措置の適用期限を3年程度延長すべきである。あわせて、事業承継がより円滑に実施できるよう以下の措置を求める。

①猶予制度ではなく免除制度に改める。

②平成29年以前の制度適用者に対しても要件を緩和するなど配慮すべきである。

③制度の認知度が低いことから、国は円滑な事業承継が図られるよう、経営者に向けた支援措置の周知徹底に努める。

3. 消費税への対応

・政府は軽減税率制度とインボイス制度について、国民や事業者への影響のほか、低所得者対策の効果等を検証する必要があり、問題があれば制度の是非を含めてその見直しを求める。

(1)インボイス制度は導入されたが、国は、引き続き、事業者に混乱が生じないよう制度の周知を徹底するとともに、事務負担が軽減するような環境整備が必要である。また、課税事業者が免税事業者と取引を行う際、取引価格の引き下げや取引の停止などの不利益を与えないよう、実効性の高い対策をとるべきである。

(2)消費税の滞納防止は税率の引き上げやインボイス制度の導入に伴ってより重要な課題となっている。消費税の制度、執行面においてさらなる対策を講じる必要がある。

III. 地方のあり方

・日本が人口減少社会に突入する中では国と地方の役割分担を見直し、財政や行政の一段の効率化を図る必要がある。とくに東京一極集中を是正するには、地方の活性化が重要な課題である。地方自身がそれぞれの特色や強みを生かした活性化戦略を構築し、民間の知恵と工夫で新

たな地場技術やビジネス手法を開発しなければ、真の活性化にはつながらない。

(1)地方創生は、さらなる税制上の施策による本社機能移転の促進、地元の特性に根差した技術の活用、地元大学との連携などによる技術集積づくりや人材の育成等、実効性のある改革を大胆に行う必要がある。こうした中で中小企業の事業承継は、地方創生戦略との関係からも極めて重要だと認識すべきである。

(2)広域行政による効率化について検討すべきである。基礎自治体（人口30万人程度）のさらなる拡充を図り、財政基盤の強化につなげる必要がある。

(3)ふるさと納税は、寄付先を納税者の出身自治体に限定するなど、さらなる見直しが求められる。また、必要経費は寄付総額の5割以下とする基準が設けられているが、より多くの寄付金が寄付先の地域のために活用されるように過度な返礼品競争を排し、事務手数料のあり方等を含めて制度設計を見直す必要がある。

IV. 震災復興等

・これまでの効果を十分に検証し、予算の執行を効率化するとともに、原発事故への対応を含めて引き続き適切な支援を行う必要がある。とりわけ被災地における企業の定着、雇用確保などに対し実効性ある措置を講じようとする。

・また、本年1月には能登半島地震が発生するなど、近年、強い地震や台風などの大規模な自然災害が相次いで発生している。東日本大震災の対応などを踏まえ、被災者の立場に立った適切な支援と実効性のある措置を講じ、被災地の確実な復旧・復興等に向けて取り組まなければならない。

V. その他

1. 納税環境の整備
2. 環境問題への対応
3. 租税教育の充実

2) 令和7年度税制改正に関する提言(地方提言活動)

○提言日：令和6年11月25日

(提言先) 衆議院議員 伊東良孝様

衆議院議員 鈴木貴子様

衆議院議員 篠田奈保子様

釧路市長 鶴間秀典様

釧路市議会議長 畠中優周様

<要請者> (一社) 北海道法人会連合会 会長 加藤欽也

(公社) 釧路地方法人会 会長 天方智順

5. 事業関係

1) 研修事業

① 講習会、研修会、説明会

◎第1回決算申告対策セミナー	5/21(火)14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路税務署法人課税第一部門上席国税調査官 浅野貴光 氏		18名
◎経営対策(労働関連法規改正)セミナー	8/6(火)14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
特定社会保険労務士 海野秀明 氏	(問税会12名)	34名
◎実務簿記講座 ※事業見直しのため休講		
◎第2回決算申告対策セミナー	9/11(水)14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路税務署法人課税第一部門上席国税調査官 浅野貴光 氏		14名
◎税務大学校(法人税講座) 3回	全回 14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
① 税制改正のあらまし	10/9(水) 税理士 青田雅之 氏	26名
② 消費税のあらまし	10/22(火) 税理士 藤原英樹 氏	29名
③ 税務調査のポイント	10/30(水) 税理士 坂下慎一 氏	27名
◎年末調整説明会	11/28(木)14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路税務署法人課税第一部門国税調査官 阿部光佑 氏		会員 112名
釧路税務署法人課税第一部門財務事務官 松本獎瑚 氏		非会員 5名
◎第3回決算申告対策セミナー	12/4(水)14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路税務署法人課税第一部門上席国税調査官 浅野貴光 氏		25名
◎第4回決算申告対策セミナー	3/5(水)14:00～16:00	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路税務署法人課税第一部門上席国税調査官 浅野貴光 氏		8名

▲インターネットセミナー(セミナー・オンデマンド)『会員ID:hj1151、パスワード:3355』

4月～3月 アクセス数 6,253件、ログイン(一般 96件、会員 1,024件)

② 小冊子等による情報提供 全て令和6年度版 ※()の数字は冊数

「税制改正のあらまし」速報版(2,200)「会社の決算・申告の実務」(1,200)
「会社の税金ガイドブック」(200)「会社がもらえる助成金活用のポイント」(100)
「会社役員のための確定申告実務」(300)「わかりやすい法人税申告書の実務」(100)
「会社取引をめぐる税務Q&A」(2,000)「源泉所得税実務のポイント」(200)

③ 決算申告シール貼付運動 令和6年4月～7年3月まで決算期毎に会員企業へ配付

2) 広報事業

①広報誌「きづな」	7月発行～88号、1月発行～89号	各 1,800部
②全法連広報誌「ほうじん」	春号4、夏号7、秋号11、新年号1～配布	各 1,800部

3) 社会貢献事業(租税教育活動)～税の啓発活動(詳細は、支部関係、部会関係)

◎釧路管内の小学生児童(5・6年生)を対象に「租税教室」を開催(5月～12月)
釧路清明小(43)、共栄小(40)、白糠学園(21)、中茶安別小(3)、塘路小(2)、
沼幌小(9)、美留和小(6)、弟子屈小(32)、真龍小(27)、太田小(5)、散布小(7)、
霧多布小(12)

◎小学生(4～6年生)を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」の開催

釧路管内21校242点の応募があり11月15日(金)アクリルベールくしろで表彰式挙行

4) 厚生親睦事業

- ◎第49回会員親睦ゴルフ大会 7月23日(火) 風林カントリークラブ
- ◎北海道立釧路芸術館との連携事業(観覧料割引)
- ◎福利厚生制度の推進 *大型保障制度、*ビジネスガード、*がん保険制度の推進

5) 福利厚生事業

(1) がんドック健診事業 【健診病院】釧路孝仁会記念病院

健診項目／P E T総合がんドック、脳精密ドック、心臓ドック、三大疾病ドックなど
受診申込み／105名(受診期間 R6年4月～R7年3月)

＜参考／元年度97名、2年度102名、3年度115名、4年度109名、5年度103名＞

(2) 福利厚生制度普及推進状況

①経営者大型総合保障制度(大同生命保険株式会社資料より)

加入状況 R7.2月末

	加入法人数(社)	加入人数(人)	保障高(千円)	保険料(万円)
令和5年度	315	930	18,636,000	29,140
令和6年度	300	870	23,390,000	29,913
増 減	△ 15	△ 60	4,754,000	773

②経営保全プラン制度(AIG損害保険株式会社資料より)

	加入件数(件)		保険料(円)
	経営保全プラン	内、任意労災プラン	
令和5年度	388	190	207,086,000
令和6年度	397	206	228,312,430
増 減	9	16	21,226,430

③がん保険制度(アフラック資料より)

加入状況 R7.3保有(請求ベース)

	加入法人数(社)	加入件数(件)	保険料(円)
令和5年度	395	1,414	7,764,973
令和6年度	384	1,310	7,214,446
増 減	△ 11	△ 104	△ 550.527

6) 地域の窮地救済事業

①事業概要～地域社会への物品の寄贈

- ・地域の窮地救済のための物品購入資金(特定費用)を活用し事業化
- ・6年度は、実施希望支部(2支部)に事業費の一部補助を決定

②実施事業の詳細・日時

- ・支部による寄贈は、各支部の判断で実施(詳細は支部事業に記載)

③支出総事業費

- ・釧路地方法人会(全体) 182,604円

- ・支出内訳

実施支部	寄付、寄贈金額	実施内容
白糠支部	68,974円	町内の小中学校児童生徒にノートを寄贈
厚岸支部	113,630円	温水プールにスポーツタイマーを寄贈

6. 会議関係

定時総会

第42回定時総会 (H24公益法人移行 第13回)

令和6年6月4日(火) 17:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 報告1. 令和5年度事業報告承認 2. 令和6年度事業計画 3. 令和6年度収支予算
議事1. 令和5年度収支決算報告

理事会等

第1回理事会 令和6年4月26日(金) 15:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 報告1. 令和6年度収支予算書 2. 令和5年度福利厚生制度の普及推進状況
議事1. 定時総会日程、進行次第、提出議題 2. 事業報告 3. 収支決算報告

第2回理事会 令和6年7月11日(木) 15:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

【表彰伝達式】令和6年度全法連、道法連役員功労者表彰の伝達

- 議事1. 各種事業開催予定 2. 会員増強運動 3. 全道苦小牧大会・全国鹿児島大会
4. 福利厚生制度の推進目標 5. その他

第3回理事会 令和6年8月28日(水) 16:30 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 報告1. 正副会長等に係る業務報告(上期)
議事1. 各種事業の遂行状況 2. 会員増強運動 3. 福利厚生制度の推進 4. その他

【税務研修会】テーマ:「釧路税務署に着任して」

講師:柄川 弘一 釧路税務署長

第4回理事会 令和7年1月23日(木) 17:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 報告1. 叙勲・褒章・納税表彰受章者 2. 各種事業経過報告 3. 会員増強運動結果報告
議事1. 新入会員の承認 2. 理事会・定時総会開催日程と事業スケジュール
3. 支部運営規則の改正 4. 福利厚生制度推進状況

【新年交礼会】叙勲・褒章・納税表彰者・功労者への記念品贈呈

第5回理事会 令和7年3月19日(水) 15:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 報告1. 正副会長等に係る業務報告(下期)
議事1. 収支決算見込み 2. 令和7年度事業計画(案) 3. 令和7年度収支予算(案)
4. 特定費用準備資金の設定 5. 定款の変更 6. 任期満了に伴う役員改選

三役会(正副会長会議)

第1回三役会 令和6年4月26日(金) 14:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 議事1. 第1回理事会提出議案審査 2. その他(今後の日程等)

第2回三役会 令和6年6月4日(火) 16:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 議事1. 定時総会進行シナリオ 2. 定時総会提出議案審査 3. その他(今後の日程等)

第3回三役会 令和6年7月11日(木) 14:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 議事1. 第2回理事会提出議題審査 2. その他(今後の日程等)

第4回三役会 令和6年8月28日(水) 15:30 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 議事1. 理事会進行 2. 第3回理事会提出議案審査 2. その他(今後の日程等)

第5回三役会 令和6年11月25日(月) 14:00 アクア・ベルくしろ

- 議事1. 年末年始行事予定 2. 叙勲・褒章・納税表彰受章者 3. 会員増強運動経過報告
4. 税制改正提言活動 5. 第4回理事会・新年交礼会の開催
6. 地域の窮地救済事業実施結果報告 7. 鶴居支部の解散 8. 理事会運営見直し
9. その他(今後の日程等)

第6回三役会 令和7年1月23日(木) 16:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 議事1. 第4回理事会提出議案審査 2. その他(今後の日程、新年交礼会・祝賀会の流れ)

第7回三役会 令和7年3月19日(水) 14:00 釧路センチュリーキャッスルホテル

- 議事1. 第5回理事会提出議案審査 2. その他(今後の日程等)

監事会

(業務・会計監査)

監査会 令和6年4月22日(月) 11:00 釧路地方法人会事務局

- 議事1. 令和5年度分決算関係書類に係る業務・会計監査

委員会等

委員会共通(総務・税制・組織・厚生・事業・広報委員会)

令和7年度税制改正要望に関するアンケート調査(令和6年4月)

税制委員会 令和6年11月25日(月) 15:30 税制改正に関する提言活動の実施

7. 支部関係

連絡会議（支部長・支部事務局）

第1回連絡会議 6年 7月26日（金）16:30 釧路センチュリーキャッスルホテル 17名

- 議事 1. 各種事業の開催予定 2. 支部運営費（前期分）の支払
3. 会員増強運動及び支部別会員状況 4. 福利厚生制度の推進目標 5. その他

第2回連絡会議 7年 2月 7日（金）17:00 釧路プリンスホテル 18名

- 議事 1. 各種事業の経過報告 2. 支部運営費（後期分）の支払
3. 会員増強運動及び支部別会員状況 4. 令和7年度理事会・定時総会開催日程
5. 支部決算報告書提出 6. 福利厚生制度進捗状況 7. その他

白糠支部

支部総会 6年 5月10日（金）18:00 はまなす 9名

- 議事 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告
2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）

支部研修会 6年12月18日（水） やまかん 8名

「キャッシュレス納付等の利用方法」釧路税務署管理運営第1部門統括徴収官 室橋 知里 氏

租税教室支援活動 支部事務局 白糠町役場税務課

- ・白糠学園（6年生21名） 6年11月19日（火）13:20～14:10

学習ノートを寄贈 6年 9月17日（火） 白糠町立学校3校

- ・地域社会への貢献を目的とした窮地救済事業の一環として、町内の白糠学園・庶路学園・茶路小中学校の児童生徒全員に学習ノートを寄贈

- ・贈呈式では、高橋支部長より、3校の学校長に学習ノートを贈呈

標茶支部

支部総会 6年 4月16日（火）16:00 標茶町商工会館 11名

- 議事 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告
2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）

租税教室支援活動 支部事務局 標茶町役場税務課

- ・中茶安別小中学校（6年生3名） 6年 6月21日（金）11:40～12:25

- ・塘路小学校（6年生2名） 6年 7月 2日（火）10:40～11:25

- ・沼幌小学校（5・6年生9名） 6年 7月24日（水）12:25～13:10

弟子屈支部

支部総会 6年 4月23日（火）17:00 釧路圏摩周観光文化センター 23名

- 議事 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告
2. 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算（案）

租税教室支援活動 支部役員（副支部長）参加 弟子屈町役場税務課

- ・美留和小学校（5・6年生6名） 6年 6月18日（火）10:35～11:20

- ・弟子屈小学校（6年生32名） 6年 6月20日（木）10:35～11:20

厚岸支部

支部総会	6年 5月31日 (金) 17:30	厚岸味覚ターミナルコンキリエ 20名
議事 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告 2. 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)		
支部研修会	6年12月 5日 (木) 17:30	シーサイドインホテルあっけし 18名
「国税キャッシュレス納付について」 札幌国税局管理運営課国税実査官 曽田 大智 氏		
租税教室支援活動	支部事務局	厚岸町役場税務課
・真龍小学校 (6年生27名)	6年 5月 2日 (木) 10:15~11:00	
・太田小学校 (6年生5名)	6年 7月18日 (木) 12:55~13:45	
備品を寄贈	6年 9月10日 (火)	厚岸町温水プール
・地域社会への貢献を目的とした窮地救済事業の一環として、厚岸町教育委員会が所管する温水プールにスポーツタイマーを寄贈 ・贈呈式では、西田支部長より、厚岸町教育委員会滝川教育長に目録を贈呈		

阿寒支部

支部総会	6年 5月13日 (月) 17:00~	阿寒町商工会館 10名
議事 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告 2. 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)		

浜中支部

支部総会	6年 4月22日 (月) 15:30	浜中町商工会館 12名
議事 1. 令和5年度事業報告 2. 令和5年度収支決算報告 3. 令和6年度事業計画(案) 4. 令和6年度収支予算(案)		
支部研修会	6年 4月22日 (月)	浜中町商工会館 12名
「定額減税について」 釧路税務署法人課税第1部門上席国税調査官 浅野 貴光 氏		
租税教室支援活動	支部役員参加	浜中町役場税務課
・散布小中学校 (5・6年7名)	6年 6月27日 (木) 10:30~11:15	
・霧多布小学校 (6年生12名)	6年11月22日 (金) 10:20~11:10	

鶴居支部

支部総会	6年 5月17日 (金) 11:00	鶴居村役場 11名
議事 1. 令和5年度事業報告並びに収支決算報告 2. 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案) 3. 鶴居支部の釧路支部への移管について		
広報活動	6年 8月14日 (水)	鶴居村球技場
・次世代を担う児童向けに、税に対する正しい理解を深め関心を高めてもらうため、イベントを通じて広報活動を実施 ・鶴居村盆踊り花火大会の来場者に広報物を配布 (小学生以下対象)		

8. 部会関係

1) 青年部会・女性部会合同事業

研修・講演等 (地域社会の健全な発展に資する事業)

総会記念講演	6年 4月11日 (木) 17:00~	釧路センチュリーキャッスルホテル	青年30名
「国税に関する不服申立制度について」			女性11名
講師: 釧路税務署 副署長 清水政男 氏			
7月合同例会【懇談会】	6年 7月17日 (水) 18:00~	釧路センチュリーキャッスルホテル	青年20名
「いま、知りたいDXの可能性」			女性 6名
講師: DX学校釧路校 認定講師・IT導入診断士 濱野綾香 氏			
8月合同例会【懇談会】	6年 8月20日 (火) 18:00~	ピアゴーテンぬさまい広場	青年17名
「来釧するクルーズ船の現状について」			
9月合同例会【懇談会】	6年 9月17日 (火) 18:00~	釧路センチュリーキャッスルホテル	青年16名
「お酒と健康」～健康にお酒と付き合っていくために～			女性 2名
講師: BAR 佐久間 オーナー 佐久間泰弘 氏			

租税教室 (税知識の普及を目的とする事業)

清明小学校体育馆	6年12月 5日 (木) 13:05~		青年2名
6年生1組23名、2組20名に税についてクイズ形式で学んでもらう			
1. 釧路税務署～アニメビデオでの税の学習 2. 青年部～クイズでの税の学習			事務局2名
共栄小学校各教室	6年12月11日 (水) ①10:40~ ②11:30~		青年3名
6年生①クラス21名、②クラス19名に税についてクイズ形式で学んでもらう			女性2名
1. 釧路税務署～アニメビデオでの税の学習 2. 青年部～クイズでの税の学習			事務局2名

会員の交流事業

税務署訪問 幹部へ挨拶	6年 8月 5日 (月) 11:30~	釧路税務署	青年 2名
税務署新任 柄川署長 樋口副署長 鷺見第一統括 (留任) 浅野第一上席 (留任)			女性 3名
税務署訪問 幹部へ挨拶	7年 1月10日 (金) 11:30~	釧路税務署	青年 3名
青年部・女性部正副部会長 税務署年始挨拶			女性 3名
2月合同例会	7年 2月14日 (金) 18:30~	パレスボウル、アカ・ペールくしろ	青年15名
ボウリング大会、表彰式			女性 5名

本部参加事業

第42回通常総会	6年 6月 4日 (火) 17:00~	釧路センチュリーキャッスルホテル	青年 6名
総会手伝い			女性 5名
第3回理事会	6年 8月28日 (水) 18:00~	釧路センチュリーキャッスルホテル	青年 4名
新税務署長講話「釧路税務署に着任して」 釧路税務署長 柄川弘一 氏			
令和6年新年交礼会	7年 1月23日 (木) 18:00~	釧路センチュリーキャッスルホテル	青年 8名
贈呈式・ゲーム進行手伝い			女性 3名

2) 女性部会単独事業

研修・講演等 (地域社会の健全な発展に資する事業)

6月単独例会	6年 6月19日 (水) 11:00～	村上商店リサイクルセンター	女性7名
徳山拾村上商店 鳥取リサイクルセンター見学 (鳥取南5-11-54)			事務局2名

税に関する絵はがきコンクール<社会貢献事業>

第15回 作品審査会	6年 9月13日 (金) 15:00～	道東経済センター3F	審査員11名
(応募小学校21校／応募数242点)			
第15回 表彰式	6年 11月15日 (金) 17:00～	アクア・ペールくしろ	女性3名
(最優秀賞1点・税務署長賞1点・優秀賞5点・奨励賞10点)			来賓10名

会員の交流事業

3月例会	7年 3月 3日 (月) 11:00～	四季の味わい「醍醐」	女性9名
雛祭り食事会 (今後のスケジュール、会員増強)			事務局3名

上部団体事業

全/女性部会連絡協議会	6年 4月18日 (木) 9:30～	リーガロイヤルホテル広島	
情報交換会テーマ	「食品ロス」についてのセミナー		古俣部会長
第18回全国女性フォーラム	6年 4月18日 (木) 14:00～	(広島大会)広島グリーンアリーナ	
第1部：記念講演 第2部：式典			古俣部会長
道/女性部会連絡協議会	6年 5月23日 (木) 15:00～	札幌パークホテル	
令和6年度女性部会連絡協議会定時総会			古俣部会長
道/女性部会連絡協議会	6年 10月18日 (金) 14:30～	ホテルベルクラシック北見	
第24回北海道法人会女性部会全道大会北見大会			古俣部会長他5名
第1部：大会式典 第2部：記念講演			事務局2名

運営会議

第41回通常総会	6年 4月11日 (木) 17:00～	釧路センチュリーキャッスルホテル	11名
1. 令和5年度事業報告 2. 令和5年度収支決算報告及び監査報告			
3. 令和6年度事業計画 4. 令和6年度収支予算 5. その他			
第1回役員会	6年 5月20日 (月) 11:30～	四季の味わい「醍醐」	6名
1. 6年度全国女性フォーラム広島大会について報告 (古俣部会長より)			事務局4名
2. 6年度例会事業について (担当割り) 3. 親会総会お手伝いについて			
4. その他 (会員増強)			
第2回役員会	7年 3月24日 (月) 11:30～	四季の味わい「醍醐」	8名
1. 令和6年度事業広告・収支仮決算報告			事務局3名
2. 令和7年度事業計画・収支予算・役員改選 3. 女性部会総会日程並びに担当			
4. その他 (親会総会お手伝い・会員増強について)			

3) 青年部会単独事業

会員の交流事業

10月例会	6年10月14日（月）8:12～	阿寒カントリークラブ	青年9名
	第3回釧路地方法人会青年部会ゴルフコンペ		
12月例会	6年12月6日（金）18:30～	トラットリア バンビーノ	青年22名
	レクリエーション（忘年会）		事務局3名

上部団体事業

道/青年部会連絡協議会	6年5月21日（火）17:00～	ニューオータニイン札幌	佐藤部会長
定時総会	令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算他		川村前部会長
道/青年部会連絡協議会	6年9月19日（木）14:30～	ふらの演劇工場	佐藤部会長他5名
第32回北海道法人会青年の集い富良野大会	大会式典、記念講演		事務局1名
全/青年部会連絡協議会	第38回法人会青年の集い福井大会		
6年11月7日（木）12:00～	・全法連青年部会連絡協議会第2回連絡協議会	佐藤部会長	
6年11月8日（金）9:00～	・部会長サミット	佐藤部会長	
・会員交流分科会 9:00～	A「租税教育活動分科会」B「健康経営プロジェクト分科会」		
・記念講演「足し算で生きる～がんステージ4からの生還」・大会式典		佐藤部会長他1名	
道/青年部会連絡協議会	7年3月6日（木）16:00～	札幌パークホテル	
・部会長サミット		佐藤部会長他1名	

運営会議

第40回通常総会	6年4月11日（木）17:00～	釧路センチュリーキャッスルホテル	25名
1. 令和5年度事業報告	2. 令和5年度収支決算報告及び監査報告		
3. 令和6年度事業計画	4. 令和6年度収支予算 5. その他		
第1回正副部会長会議	6年5月20日（月）17:30～	トラットリア バンビーノ	5名
1. 第1回役員会進行担当	2. 第1回役員会運営 3. 第1回役員会議案内容	事務局4名	
第1回役員会・懇談会	6年5月20日（月）18:00～	トラットリア バンビーノ	15名
1. 令和6年度事業並びに担当割り当て	2. 親会総会お手伝い	事務局4名	
3. その他（租税教室、親会ゴルフコンペ、北海道法人会青年の集い富良野大会）			
第2回正副部会長会議	7年3月12日（水）17:30～	トラットリア バンビーノ	4名
1. 第2回役員会運営	2. 懇談会進行役 3. 令和7年度総会進行に係る担当	事務局3名	
第2回役員会・懇談会	7年3月12日（水）18:00～	トラットリア バンビーノ	12名
1. 令和7年度総会議案関係	2. 規約改定 3. 役員改選 4. その他	事務局3名	

9. 上部団体、関係団体

1) 公益財団法人 全国法人会総連合

全国大会鹿児島大会 6年10月 3日（木）14:00 城山ホテル鹿児島

2) 一般社団法人 北海道法人会連合会

第1回理事会	6年 5月14日（火）14:00	ホテルニューオータニイン札幌
税制（正副会議）委員会	6年 6月 7日（金）12:30	ホテルモントレエーデルホフ札幌
通常総会	6年 6月12日（水）16:00	ホテルニューオータニイン札幌
事業研修委員会	6年 7月25日（木）12:30	ホテルモントレエーデルホフ札幌
税制（正副会議）委員会	6年 7月30日（火）12:00	ホテルモントレエーデルホフ札幌
第2回理事会	6年 8月20日書面開催	【税制改正提言事項】
組織・厚生合同委員会	6年 8月21日（水）15:00	ホテルモントレエーデルホフ札幌
全道大会苫小牧大会	6年 9月 5日（木）14:00	苫小牧市民会館
広報（正副会議）委員会	6年10月30日（水）12:00	ホテルモントレエーデルホフ札幌
第3回理事会	6年12月 4日（水）15:00	ホテルニューオータニイン札幌
広報（正副会議）委員会	7年 2月21日（金）12:30	ホテルモントレエーデルホフ札幌
事業研修委員会	7年 2月27日（木）12:30	ホテルモントレエーデルホフ札幌
組織・厚生合同委員会	7年 3月14日（金）15:00	ホテルモントレエーデルホフ札幌
第4回理事会	7年 3月26日（水）15:00	ホテルニューオータニイン札幌

3) 関係団体、関係機関

釧路間税会通常総会懇談会	6年 5月29日（水）17:30	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路地方青色申告会連合会総会懇談会	6年 5月21日（火）17:30	釧路センチュリーキャッスルホテル
釧路市租税教育推進協議会定期総会	6年 6月11日（火）14:00	釧路税務署
釧路税務署長納税表彰式	6年11月14日（木）15:00	釧路プリンスホテル

10. 表彰、受賞関係

1) 国家褒章

① 令和6年「春の叙勲」

*旭日双光章・地方自治功労
宗教法人法華寺 代表役員 波岡玄智様

② 令和6年「秋の叙勲」

*旭日双光章・交通安全功労
協和トラック㈱ 代表取締役会長 安藤純博様

2) 受賞

① 令和6年度納税表彰

国税庁長官表彰
元常任理事 村井順一様
釧路税務署長表彰
常任理事 杉本眞美様

② 公益財団法人 全国法人会連合

単位会役員功労者
常任理事 木内敏子様

③ 一般社団法人 北海道法人会連合会

単位会役員功労者（該当者なし）

11. 庶務事項関係

1) 上部団体の役員状況

① 公益財団法人 全国法人会連合会

該当者なし

② 一般社団法人 北海道法人会連合会

理 事	天 方 智 順	(税制委員会／副委員長)
理 事	古 俣 静 子	(事業研修委員会／委員)
理 事	新 妻 繫 市	(組織委員会／委員)
議決権行使者	近 藤 明	(広報委員会／副委員長)
議決権行使者	村 上 祐 二	(厚生委員会／委員)

2) 当会の役員状況

① 新任者 なし

② 退任者 なし

③ 役員名簿 次ページ（令和6年度釧路地方法人会役員名簿）記載のとおり

3) 事務局

事務局長	和 田 充
事務局（係長）	橋 本 小百合
事務局	齋 藤 恵